

NIIGATA U-TURN INFORMATION

U・TURN

新潟Uターン情報

2009 vol.3

愛

物語は、
この地からはじまる

やっぱり

こ こ
新潟がしいい!

CONTENTS

● 業界研究 採用担当者に聞く「小売業」の魅力

● がんばれ後輩!

● がんばれ就活! インタビューから探る～県内企業の採用動向～

● 学生職業総合支援センターのご案内



新潟県
平成21年3月発行

発行

新潟県産業労働観光部労政雇用課 〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 電話025-280-5270(直通)
新潟地域振興局企画振興部 025-231-8171 長岡地域振興局企画振興部 0258-38-2546 上越地域振興局企画振興部 025-526-9431

「小売業」の魅力

まず業界の現状をお聞かせください。

2003年に県外からスーパーセンターの出店が相次ぎ、新潟戦争と呼ばれるかつてないほど厳しい状況もありましたが、それも一段落しました。ですが、新潟は「スーパー激戦区」といわれるように、食品を販売する店が数多くあります。その中で、一人でも多くのお客様に原信・ナルスにおいでいただき、「ここにお店があつてよかった」と言ってもらえるような店づくりを目指しています。

スーパーも色々なお店がありますが御社はどのようなスタイルで営業されていますか。

お客様の期待に対し、商品や様々なサービスを通じて応えていくのが私達の仕事です。もっと〇〇したら…、〇〇だったらいいのに…を一つひとつに形にしています。その時に忘れてはならないのは、「判断の基準はお客様」という考え方です。常にお客様の視点で考え、お客様を最優先して考えることを大切にしています。



原信ナルスホールディングス株式会社
人事教育室人事教育担当
石坂 美和さん

98年入社、旧新潟市出身。
燕店、西新町店など4店舗の勤務経験を経て現在の部署へ
その間2回の育児休業を取得、仕事と子育ての両立をはかり
ながら同社の採用担当として活躍中

県内各地に店舗がありますが勤務地はどうなりますか。

エリア社員制をとっていませんので、自宅から通勤できない店舗に配属になる可能性もあります。「転勤」というイメージが大きいですが、実は地域によって少しずつ違う食生活を知るためには、自分がその土地で住み、生活を実体験することが必要です。また、20代～30代の若い世代で様々な店舗で経験を積むのは、キャリアを重ねる上で不可欠な要素です。

入社してからの仕事内容を教えてください。

入社して1週間の合宿研修の後、3ヶ月かけて生鮮、日配品、レジ部門など性質の異なる複数の部門の仕事を体験します。その中で、本人の意向や適性を考慮してどの部門に配属になるかが決まります。配属先では、OJTにより基本的な部分から仕事を覚えていきます。また、月1～2回のペースで訓練センターにて部門別研修が行われます。訓練センターは、文字通り「訓練するための場所」ですので、失敗を恐れずに練習できます。

このように入社後から様々な教育プログラムを準備していますので、これまで包丁を握ったことがない!という方でも安心して仕事をしていただけます。また、部門によって少し差がありますが、2年くらいで部門責任者になれるように計画的に育成します。

その後の方向性は個人毎に違ってきます。店舗でさらに経験を積んでもらう場合もあれば、店舗の営業が円滑に進むように専門的な分野に関わることもあります。どんなキャリアを積んでいくかは十人十色。会社と個人の意向(年1回全従業員が将来の目標とその実現のための取り組み課題を申告)を勘案してキャリアプログラムが組み立てられます。



働きやすさ(仕事と子育ての両立)の点ではどうですか。

私も2回の育児休業を取得しました。長期間仕事から離れるため不安も大きいですが、様々な支援があったので余計な心配をすることなく、出産・育児に専念できました。仕事復帰の際は、必ず休みに入る前と同じ部署に戻れますので、復帰後の自分の居場所を心配することなく休暇を取得できます。また従業員数も多いことから、育休取得者は常時いるような状況です。ですので、育児休業を取得することは特別なこと、というイメージもありません。

店舗の仕事では、商品の運搬など重たいものを扱うこともあり、出産が近づくにつれやりづらくなる作業もできます。でもそんな時、周囲の従業員が体を気遣ってくれ、手を貸してくれたのでとてもありがたかったです。最初は、相手の作業を中断させてしまうこともあり申し訳ない…という思いが強かったのですが、徐々に考え方が変わり、できない時は素直に甘えてもいいんだと思えるようになりました。それと同時に、今度は自分がフォローする側にまわった時には、後輩社員を支えてあげたいと思うようになりました。

また、育児休業を取得し、仕事に復帰している先輩社員の経験談はとても貴重でした。出産、育児、仕事復帰…すべてがはじめての経験なので様々な不安が出てきます。ですがそういった時も仕事と子育てを両立させるための悩みを聞いてもらったり、アドバイスをいただくことで前向きに考えられるようになりました。



原信ナルスホールディングス株式会社

本社所在地 / 長岡市中興野 18-2

資本金 / 31 億 5,900 万円

従業員数 / 1,400 名

URL / <http://www.hnhd.co.jp/>

誰もが知っていて誰もが利用したことのあるスーパーマーケット。それゆえに、持っているイメージや、買い物に行ったときにみかける従業員の様子で仕事を判断されがちです。ですが、それはスーパーマーケットの仕事の一部であり、その奥にはそこで働く人のやりがいや探求心、見えない部分の奥深さや面白さがたくさんあります。

今回はそんなスーパーマーケットの「魅力」を原信ナルスホールディングス株式会社の採用担当者、石坂さんに語ってもらいました。

仕事の奥深さは どんなところにありますか。

お客様の不便を解消しよう、ということからはじまったレジでの袋詰め。今では定着していますが、この状態になるまでには長い道のりがありました。

雨の日も風の日も、夏の暑い日にもお買い物に来て下さるお客様が購入された商品は私たちの手で袋にお詰めし、お客様にお渡ししよう！とスタートした袋詰めですが、当時は国内のどのスーパーマーケットでもやられていないことでした。「じゃあ、自分達で作ろう」ということで、まずはアメリカへ渡って調査を行い、その結果をもとに袋詰めレジの第1号機を作りました。ターンテーブル方式のとて大きなレジで、テーブルの上にお客様から商品を1点ずつ載せていただくレジでした。うまくいくと思いきや、その結果はさんざんなもので、お客様からも「今までのレジの方がいい」「こんなに待たせるなんて…」という苦情が多く寄せられました。ですが、私たちはうまく行かないから諦めるのではなく、逆にお客様からのご意見を一つずつ改善して問題を解決していこうと考え、実行しました。

そして、繰り返し改善を続けた結果が現在のレジ台で、第8号機です。試行錯誤を繰り返してようやく今の形にたどり着きました。時間はかかりましたが、それはムダだとは思っていません。この過程があったからこそ、今があるのです。



▲アメリカへ渡って調査を行い完成した袋詰めレジ第1号機



▲改良を重ねて完成した袋詰めレジ第8号機

私たちは、昨日と同じ今日を再現するために仕事をするのではなく、お客様によりよい商品、サービスを提供するために今あるものをもっといい形に変えていくことが求められます。自分のイメージ通りに進められる時もあれば、思うように成果があがらず歯がゆい思いをしたり、失敗して落ち込むこともあります。ですが、時には目標を達成したり、お客様から「よかったよ」と声をかけていただいたりすることが、また頑張るぞ！という原動力になります。

仕事の楽しさや面白さは どんなところにありますか。

今もお伝えしましたが、常に改善を加えていくということでしょうか。問題点が明確になった時、自分だけでなく、パートさんやアルバイトさんと一緒に、それぞれが知恵を出し合い役割分担を決めて問題解決にあたります。パートさんアルバイトさんは従業員でもありますが、お店で買い物をしていただくお客様でもあります。両方の立場を理解し、生活体験も豊富な人たちの意見は貴重です。

そして、その成果を自分自身が、短期間で確認できるという点も楽しさや面白さの一つです。早ければわずか一日でその効果を確認できます。開店から閉店までの販売数量が目標に達したかどうか、自分たちがやった仕事の結果を直接確認できます。失敗することもあります。それがあつからこそ成功した時の喜びは大きいです。

求める人材は

まず会社が目指していくことを自分の目的として共有できる人です。理念を共有し、自分もその実現のために一緒に頑張りたいと思っただけのかがポイントです。次に、常に目標を持って前進できる人です。入社後は店舗や本部の様々な部署を経験しますが、いずれはこんな仕事をしたい、という目標を明確にすると共に、それを実現するためにはどうすればいいのか、具体的に考え取り組める人です。それから未知の領域にも一歩踏み出せる人。分からないから諦めるではなく、先のゴールを見据えて地道な努力を積み重ねられる人です。

学生へのメッセージを お願いします。

皆さんにとっては最初で最後の就職活動ですので、分からないことが出てくるのは当たり前です。学校の就職課や友人、知り合いに相談するのもいいですが、それでも解決できないことがあつたら遠慮せずに採用担当者に聞いてみてください。これを聞いたらいけないかなとか、聞いたらいマイナス評価になるんじゃないかなとか、気にしすぎて差し障りのない質問してくる学生さんもいますが、気になることはストレートに聞いてほしいと思います。皆さんのマイナスになるようなことを考えている採用担当者は一人もいません。会社のいい面だけでなく、働きづらい点も知ることが会社の正しい理解につながります。私たちは、皆さんの就職活動を様々な情報を提供することで応援していきたいと思つています。

また、就職活動を進める中で、「その時の最善を尽くすこと」です。後になって「これをやっておけばよかった」とか、「こうなるはずじゃなかったのに」と後悔しないようにしましょう。そして、その時々で全力を注いで活動することにより、自分が納得できる1社に巡り会えると思つています。

インタビューから探る

県内企業の
採用動向

がんばれ

就活!

チャンス
チャンス

2010年の就職活動は様々な不安要素が
新聞・ニュースなどで報道されています。

このような状況下でただ漠然と色々な不安を抱えながら
就職活動をしている学生も多いと思います。

では、実際に県内企業の現状はどうなのか、今後の動きはどうなのか、
どのように就職活動すればよいのか、県内就職を希望する学生をサポートする
「にいがた就職応援団」代表の山岸昌彦氏にお話を伺いました。

2010年採用について

県内企業の 採用活動の動向

不況による景気低迷の影響はやはり
出ています。これは県内だけでなく全国的に
そういった動きです。

県内は新卒採用に限っては極端に
落ち込んでいるわけではなく、2009年
採用に比べて7、8割といったところ
です。採用数未定の企業が多々あります。
もちろんすべての企業がそういった
状況というわけではなく、食品メーカ

ーやスーパー、流通などは採用予定が
例年どおりの業種もあります。

「100年に1度の不況」と言われてい
ますが、逆に優秀な人材を確保するた
め「100年に1度のチャンス」と積極的
に採用を考えている企業もあります。

今後の動向

少なからず、2010採用はこのままでい
くのではないでしょう。

ただし、断定はできませんが、夏前くらいに
は景気回復時を見通した採用復活など、今
採用を保留している企業でも今後動く可
能性は考えられます。

これからの 採用スケジュール

県内企業では、これからGW前後に多
くの企業で内々定が出始めます。今年
は会社説明会の動員が90~100%の企
業でさえも、業種によっては選考試験
の申込みが少ない企業も出ているよう
です。よって5月前後には2次募集が
出てくる可能性は十分に考えられます。
採用情報を随時チェックして最後まで
諦めずに企業を探してほしいです。ま
た、必ずでは



ありませんが銀行の結果が出るGW頃
に募集をかける企業もあるようです。

業種別の傾向や 職種別の対策

金融業は大人気です。メーカーは製造
物や企業規模、エリアによって採用意
欲に差が出ています。流通業は今年比
較的に多くの学生がエントリーしてい
ます。建設や住宅などは伸び悩んでい
るようです。

職種別の対策は、業種にこだわらず
研究の方がよいでしょう。たとえば営
業であれば商社とか金融、食品メー
カーとか。接客であればスーパーや
百貨店、外食やアミューズメントな
ど。



PROFILE

にいがた就職応援団/株式会社広報しえん
代表取締役 山岸 昌彦

1964年長岡市生。流通業、大手就職情報会社、建設会社等を経て、2000年9月(株)広報しえん入社。取締役営業部長を務め、県内企業の採用活動のコンサルティング・人材教育・育成のコーディネートを担当。2006年4月代表取締役社長就任。新潟県内において幅広い人材ビジネスを展開中。県内外の大学等での就職活動の講演多数あり。

民間企業と公務員、 両方考えている場合

景気が悪いと「安定」志向が強まり公務員を視野に入れる学生が増えます。難しいかもしれませんが早めに意志決定した方が得策かと考えます。その方がどちらかに集中して活動を行うことができます。公務員を狙うのであれば選考までにモチベーションを落とさず自己管理と時間との戦いですね。

自分に合った企業を を見つけるには

アンテナをとにかく張ること。県内に

は約3万社の法人企業があります。そのうち就活サイトに登録している企業はわずか約300社です。働いている社会人から話を聞く、新聞を読み情報を得る、就活サイト以外にも探す方法はたくさんあります。キラリと光る企業は人それぞれ違うと思いますが、県内企業だけでも約3万社の法人企業があるわけですから自分に合う企業を見つけるのは探し方次第ですね。

「社名だけでは判断しない」「知名度あるなしだけで判断しない」「企業規模や福利厚生だけで判断しない」「合説ではあらゆる企業、知らない企業の話を書く」「知っている企業だけ聞く」のではなく、「知らないからこそ聞きに行く」という

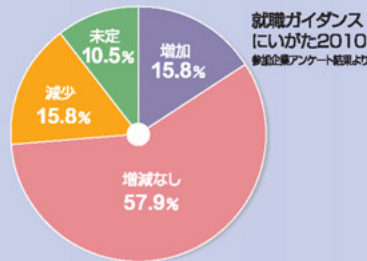


姿勢を持ってほしいです。合説は端的に言えばデパ地下の試食コーナーのようなものです。話を聞いてみて「やっぱり自分には合わないかも」と感じたとしても決して無駄ではありません。どちらかというところから話を書くことにより「意外と面白そう」「思っていた以上に自分に向いているかも」などの新たな発見があるものです。とにかく貪欲に情報収集を欠かさないことが一番なのです。

2010年採用募集人数の増減

2009年採用との比較

「増加」と「増減なし」の合計で73.7%となっており、新卒採用に関しては毎年一定数を確保する企業が多いようです。また、「増減なし」と回答した企業でも「良い人材がいれば増」という回答もありました。



2011年以降の採用について

今、何をしておくべきか

経済動向を知っていた方がいいですね。新聞を読む、ニュースを見る、先輩に聞くとか。ただ、そんなに気負うことはなくて、新聞であれば最初は全部めくる程度でもいいです。キャッチコピーなどの見出しだけ見ていくとか。それでも毎日続けることで自然と世の中の動きがわかってきます。いきなり日経新聞を毎日隅々まで全部読むなんて思わず、「新聞を毎日見る」という習慣をつけることから始めるといいと思います。

それからもう一つ、コミュニケーション能力を養うということ。バイト先の大人や学校の先輩など、身近な目上の人に積極的に話しかけるといいでしょう。これも、就活を見据えて「改まって」ではなく、まずは挨拶からでもいいです。とにかくいろんな人とコミュニケーションをはかることで、自然と身についてくると思います。目上の人との会話をたくさん交わして、2wayコミュニケーションに慣れることです。

県外で県内企業の 情報収集をする方法

ハローワーク、それから学校のキャリアアセンダー（就職課など）をもっと活用すると思います。

どちらも情報は豊富です。また、東京にあるネスパス（にいがたUターン情報センター）も活用するべきでしょう。あとは県内在学の友人や親御さんも頼りになると思います。

学生の皆さんへの アドバイス

これから先の自分の人生を謳歌しましょう！

「自分らしく豊かで幸せな人生を歩む」ためにどんな「仕事」という手段を使うのか！ぜひ、自分に合った働き方を見つけてください。就活は学生に認められた社会見学の間です。遠慮することなく思う存分に活動してください。ぜひ、諸先

輩の社会人の人たちに遠慮なく何でも聞いて未来を語ってもらってください。

そして活動する中で堂々と自分の未来を語れるようになってください！



1 Uターンする前はどこにお住まいでしたか。

埼玉県に学生の間4年間住んでいました。

2 新潟にUターンした理由は何ですか。

新潟県が好きで、以前から地域貢献をしたいと考えていました。中越地震以後は、どこへ行っても地震のことを言われるようになり、関東の方では、新潟と言えば「地震」というイメージが固まっていたので、何か自分が新潟のイメージアップするようなことができたらいいなあと考えるようになりました。

「地方は就職先が少ない！」と昔は思い込んでいたのですが、調べてみたらいろいろよい企業がありました。実家から通えるので経済面で助かることも理由の1つです。

3 Uターンする際の就職活動で苦労したことなどがあれば教えてください。

就職活動については、最初は関東と新潟の2本立てでやっていました。大学3年の頃で、まだ授業もありましたので、関東と新潟を何度も往復しなければなりません。その頃は時間の使い方が非常に難しかったです。交通費も15万から20万円位はかかってしまいました。

4 新潟にUターンして良かったと思うことは何ですか。

1番よかったことは、家族と過ごす時間が増えたことです。またUターンした地元の友人もたくさんいて、お互いよい刺激になっています。友人ががんばっている噂を耳にすると、「私もがんばらなきゃ！」という気持ちになります。

また、Uターンして社会人になってからは、地元の行事やイベントに対する見方が変わりました。雪祭りや大地の芸術祭など、十日町には素晴らしい行事がたくさんあります。自分も地元の人たちと一緒にそれらを盛り上げ、PRして行けたらいいなと思っています。

5 今の会社に入社した動機は。

もともと「きもの」に関する仕事を希望していたわけではありましたが、地元のいろいろな企業について調べる中で、合同説明会に参加し、今の会社のことを知りました。そこで、「きもの」という歴史のあるものを扱っているにもかかわらず、常に新しいことに挑戦し続けている会社の姿勢を知り、大変共感し、自分もその中で働けたらという気持ちになりました。

先輩からの
アドバイス



いろいろな世界を見てみる。
少しでも気になるところは
見ておくべき。



首都圏からの
Uターン

株式会社 きものブレイン
(十日町市)

岡本 景子さん
(十日町市出身)

6 今の仕事の内容とその魅力を教えてください。

ブレタきもの自社ブランド「花詩歌(はなしうた)」の企画・デザイン・販売やリサイクルきもの販売を行っている販売部に所属しています。

現在は主に、3分で着られるきもの「フィット仕立」の拡販のためのインストラクターとして小売店に出向くことが私の仕事です。直接お客様の生の声を聞く機会も多いです。厳しいご意見をいただくこともありますが、中には人生の先輩方からきもの以外のお話を聞かせていただくこともあり、貴重な経験をさせていただいています。新しいことへのチャレンジは、苦労することもたくさんありますが、やりがいもあります。

また、出張が多くいろいろな土地に行けることも楽しみの1つです。平成19年に入社してから今までに東京、栃木、静岡を始め京都、大阪、広島、岡山、宮崎など多数行かせてもらいました。

7 趣味や休日の過ごし方は。

高校まで陸上をやっていたことからジョギングが好きで、仕事が終わったあとや休日などによくジョギングをします。また、地域のスポーツイベントや子ども達と一緒に体を動かす機会を持って地域を盛り上げようという活動に参加しています。

これからは音楽や芸術に触れる機会を積極的に作っていきたく思っていて、今年は個展を見に美術館へ行くのかなと考えています。

8 県外にいる学生へのアドバイスをお願いします。

まず1つめは、Uターンを考えている人には、就職活動においてスケジュール管理をしっかりしてもらいたいと思います。地方は関東と違って電車やバスも数多く出ていません。事前にきちんと時間を調べて、無駄のない動きをすることが重要です。

2つめは、選択の幅を狭めないで、視野を広げて活動してもらえたらと思います。

「何をしたらいいか分からない、やりたいことがない」という人がいると思いますが、それ自体は悪いことではないと思います。「何でもできるんだ」という気持ちになってがんばってほしいです。

逆に、「この仕事でなければ」と思っている人もいますが、視野を広げているんな世界を見るのも大事かと思えます。少しでも気になるところは見ておくべきです。思わぬところに自分に合った仕事が見つかるかもしれません。

INFORMATION 学生職業総合支援センターのご案内

厚生労働省が運営する「学生職業総合支援センター」のWEBサイトで、4月1日から全国のハローワークに提出された2010年新卒者向けの求人票が公開されます。

これまでに開催された合同企業説明会に参加していない企業や、就活サイトに掲載されていない企業の求人情報も多数公開されています。そのほか、全国各地の就職イベント情報やインターンシップ情報など、就職活動に役立つ情報が掲載されています。

4月から2010年新卒者向け求人票が公開されます!

また、同センターではアドバイザーによる就職活動の相談をはじめ、各種セミナーや講座なども行っています。2011年以降卒業予定の方の利用も可能です。ぜひ活用してみましょう!

※なお、県内のハローワークに提出された求人一覧表を本誌に登録されている2010年卒業予定の方に送付させていただきます。(4月中旬頃の予定です。)

※2011年以降卒業予定の方で求人一覧表の送付をご希望される方は、新潟県労政雇用課までご連絡ください。(TEL 025-280-5270)



学生職業総合支援センター 検索